

「ちからの経営」設計書の策定事例④

福岡県中小企業団体中央会は、経営理念、企業文化、技術・ノウハウ、ネットワーク等、無形の「ちから」を活用した企業経営を「ちからの経営」と呼び、これらの「ちから」を活かした取り組みを「ちからの経営」設計書にまとめ、企業内外に開示する取り組みを支援しています。

今回は、縫製・印刷向け等の多様な産業用副資材の卸売を行う株式会社樋口金十郎商店（福岡市博多区）、代表取締役社長樋口睦朗氏及び常務取締役樋口昇氏にお話を伺いました。

取り組もうと思った動機

当社は来年で創業60周年。長い歴史を有しますが、昨年「ちからの経営」設計書を策定するまで、確固たる経営理念や行動理念がありませんでした。

また顧客ニーズに対応し、縫製、テント・シート、旗・染業界、印刷、ビニール加工、農業用等の幅広い産業用副資材を取り扱ってきましたが、その中で当社の何が強みなのか、何が弱みなのか、焦点がぼやけていた側面もありました。

これに加え、社員が生きがい・やりがいを感じられる、また小さくても強い会社にしていかねばならない、そういう思いから、経営診断で以前ご支援を頂いた中小企業診断士の野村アドバイザーのご紹介により、「ちからの経営」設計書の策定に取り組む事としました。

策定プロセス

策定は、主に私（代表）と常務の2名で行いました。これは、外回りが多い営業社員が策定メンバーに加わる事はタイミング的に難しいこと、また策定プロセスを事業承継の一環にしたいという思いからでした。

私は創業者の樋口金十郎から見て「第2世代」となります。この世代までは、直接創業者と共に仕事をした経験があります。

しかし、次の「第3世代」は、これらの経験が無いので、創業者精神を伝え、これを引き継いでもらう必要があると考えました。私もこれまで仕事等を通して、多くの「思い」を持っています。しかし、これを後継者や社員に分かりやすく伝える事は難しいものです。そこで、策定プロセスを通じて第3世代にあたる常務と「思いを形にする」こととしました。



策定した「ちからの経営」設計書（一部抜粋）



「ちからの経営」設計書を社員に説明中

「ちからの経営」設計書を策定した成果等

策定する過程で、社員の声を改めて聞く事ができた点は非常に良かったと思います。とりわけ、社員の声が多かったのは、「お客様からの信頼や感謝の言葉が、やりがいに繋がる」という事でした。

当社は「社員に任せる」という社風を有しています。これが社員の多様なアイデアや提案力を生み、その成果はお客様の信用や信頼となり、やりがいを生みます。

やりがいは仕事を続けるモチベーションとなり、離職率が下がることで、ノウハウや顧客情報が蓄積する。これらのプロセスが「無形の強み」となっている事に改めて気付きました。

また、会社の羅針盤となる経営理念、行動理念、活動方針を、良いタイミングで定める事が出来たと思います。これらを中小企業単独で策定するのは難しいと思います。第三者の意見を聞きながら、スケジュールを決めて実施できた点が良かったと思います。また、企業情報は誰にでも出せるものではないので、公的な支援は必要だと思います。

これからの「ちからの経営」について

昨年夏に「ちからの経営」設計書について社員向けの発表会を行いました。今後も「ちからの経営」設計書に記載した経営理念「100年企業を目指して」、「毎日が信用づくり」という行動理念のもと、創業者から引き継いだ精神を社内に浸透させていくよう努めていくつもりです。

また、福岡はアジアの玄関口として今後も発展が見込まれますので、地域に根ざした事業展開で経営基盤を強化していきたいと思っています。そのような経営環境も踏まえ、今春にもアドバイザーや中央会の支援を受けながら、「ちからの経営」設計書の更新を行いたいと思っています。

(文責：企業支援室 内田)



創業者、樋口金十郎氏(写真中央)の精神を引き継ぎ「100年企業を目指す」！(現樋口社長は右から2人目)

企業概要

企業名：株式会社樋口金十郎商店
所在地：福岡市博多区美野島2-15-4
TEL：092-431-5775
FAX：092-431-1227
URL：<http://www.kinjuro.co.jp/>

「ちからの経営」HP：<http://chiikiryouku.biz/>
株式会社樋口金十郎商店の「ちからの経営」設計書も公開しています

「ちからの経営」設計書については企業支援室(092-622-8780)までご連絡下さい